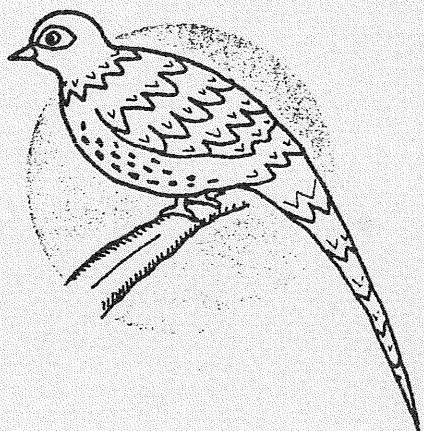


団報 15周年記念号



15周年記念行事

(15周年記念行事期間
昭和58年夏 ————— 59年春迄とする)

- * 杉並8団 シンボルマークを定める。
- * 杉並8団 ラバーフラッグ製作(シンボルマーク入り)
- * 15周年記念合同野営(八ヶ岳、八千穂高原)
- * 団報記念号、15周年のあゆみ編集。
- * 15周年記念式典。
- * 15年間の資料整理 — 20周年に向けて実施中。

59. 2. 12

ボーイスカウト東京連盟杉並第8団

ボーイスカウト杉並8団
15周年を迎えるにあたって

(团委員長) 東海林義尚

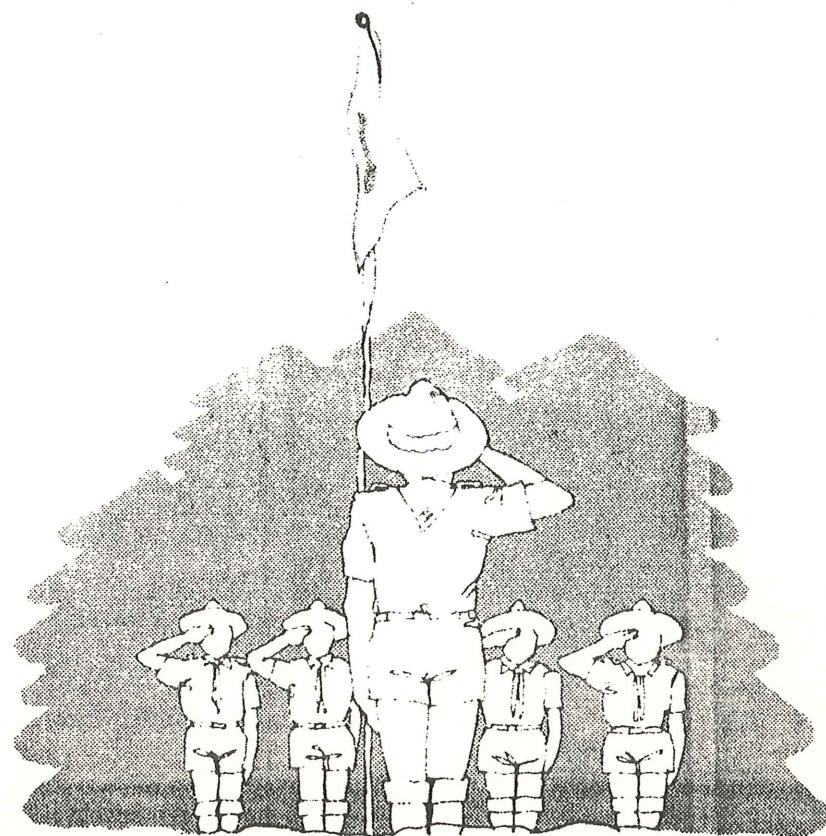
B.S 杉並8団 発団 15周年記念式典を迎えるにあたり 御祝いを申上げます。
昭和43年12月23日、中西称親子を中心として、今村、(故)土屋、小俣各代の
ご尽力により、荻窪の地に、呱々の声を上げてより、15年…

発足時 团委員3名、隊リーダー3名、カブスカウト20名の東京288団も地元の
絶大なるご協力、育成会員のご援助、又東連、杉並地区のご支援により、
地区内2-3有力な杉並8団に成長して参りました(登録者198名)。
昭和58年には、優秀団として東京連盟の表彰を受ける迄になって来ました。
これも一重に種を播いて苗を育成して下された、中西称一家の贈と感謝申
上げます。

更に次の苗を現在の姿にお育て下された関係者の方々に深く感謝申上げます。
杉並8団は 成長したとは申せ、未だ 未だ未熟の団で、なすべき事は多々
あります。皆々称の今後のご支援、ご協力を願い上げる次第であります。

B.S 運動の原点に戻って、子供等の為に、何をなすべきかを考え、
社会に奉仕出来る市民の育成へ向けて、団、隊リーダー諸君の奮気を期する
次第で、杉並地区ばかりか、東連内でも、日本連盟でも…

模範になる団にしようではありますか。



発団15周年にあたって

(育成会長) 小俣 雄

当杉並8団が発団されてより早くも、十五周年記念の式典を迎えようとして居ります。
月日の流れの早さに、今更ながらしみじみと驚いています。

当時 私もまだ五一歳の男盛りで張切っていました。それ故夏のキャンプ等には
故土屋氏のお供をして、スカウト諸君と一緒に、二、三日を過したものです。

年々歳を取りますが 気持は少しも 变っていないつもりです。

しかし最近雑用が多く、自分の体でありながら思ふ様にならず、失礼に失礼を
重ねている現在です。

思えば、当時を振り返って見ると発団されたといつても名のみで「リーダー、スカウト共々
十名位の少數でしたが、現在は育成会 団規約も出来、組織にのっとり
運営活動し、团委員長を中心にリーダー各位の熱心なご指導、ご協力に依り、

今日の如き、地区的団の中に於ても、決して引けを取らない立派な団が
築かれましたことを、深く感謝致します。

又 この十五年は、当団にとって大きな節ではないかと思います。

私達も又リーダー各位も、この十五周年記念を契機として、ボーイスカウトの原点に
戻り、青少年の育成に一段のご協力切にお願いする次第です。

当団の幕明け

(团委員) 今村 国治

三指

発団十五周年を迎えての実感は「いい団になったなあ」。

これが私の第一声です。当団に残る最古参者としての実感なのです。

団のこれまでの大きな流れを見ると、発団当時の「創成時代」
中期の改革時代、そして現在の成長時代という眞合に大別されると
思うのです。幾多の大波を乗り越え、各處から這い上り、ようやく東京共に
クリーンな姿で十五周年を歓びの気持で、迎えることの出来たこと、感謝の念が
いっぱいござります。

特に大黒柱として君臨、ご指導頂いた、今は七き土屋前团委員長を
初め、団の指導者、連盟の先生方、地元参助会員の皆様、そして
関係者各位に深く感謝と御礼を申し上げます。

そこで私は、唯一残す発起人として発団当時の思い出を記してみようと思います。

それは今から十六年前の昭和43年夏休みのことです。

男の子を持つ親として、ボーイスカウトへのあこがれを抱いておりました私共と、
当時親友のあつた中西さん(当団初代副团委員長)ご一家から ボーイスカウトの

お話を伺って感激致しました。 それなら地元荻窪の地に団を創ることによってこの夢がかなえられるのではないかと、ハラ発想の基に、早速荻窪の地に団を創ることによって、この夢がかなえられるのではないかという発想の基に、早速荻窪北口大通り商店会の仲間に呼びかけたところ、皆合意しまして、有志六名にて発起人会(9/9日)なるものが誕生しました。

先ずキヤノンとして 団委員長には土屋義一氏、育成会長には小保先生をというふうにお願いにあがりました。 お二人方共に地元各界に亘り、多忙な御身にも拘らずよし、ボイスカウト運動を推進しようではないか、との力強いお言葉を頂きました。 発起人会は直ちに設立準備会(9/17日)に切換えられ、登録準備へと進展したのです。

具体的な作業としては、先ずスカウトへの呼びかけとして、「募集ビラ」を200枚手書き(当時はコピーなどなし)し、荻窪の町角や、学校近辺に貼らせて頂いたのが第一歩です。 入隊願いのガリ版印刷、育成会の趣意書の作成、東連の書類、育成会と団についての勉強、面接の日取り、説明から合格発表までの手順。

その他多くの事項が初めてのことづくめでしたが、東連、西部地区の先生方のご指導によつて、着々と団結成へこぎつけました。

団名も末広がりの「八」で行きたいとの、中西さんの思慮で、東京第288団(東連への登録順によってメンバーが決まる)となるべく登録された。

私も团委員として組織作りの難題と取り組む一方、BS隊長も兼任ということで訓育プログラムの研究(橋副長といふ事晴らすスカウトの判別あり)へも没頭する重責にはまり込んでいったのでした。

44年1月の初期登録には、カブスカウト隊 21名 ボイスカウト隊(わら班、はやぶさ班)15名という2隊のこじんまりとしたせいでスタートしましたので。 かくして昭和44年4月27日 若杉小体育館にて、発団式を挙行し、東京連盟より「登録認定書」が授与され、「日本ボイスカウト東京連盟288団」の誕生となつた次第です。 式典には東連並びに西部地区の先生方、友団としての横須賀の団が、応援参会下され、地元関係者並びに後援下さる、有志多數様のご臨席を頂きまして当団の跡塗を祝福されました。

この間 BS隊として、発団前後の行事として、印象に残っているもの3つ程記してペンを置きたいと思ひます。

昭和43年大晦日に、白山神社のかがり火奉仕、をさせて頂きました。由来、当団の恒例行事になつております。

44年5月3日に横須賀双子山にて、オ1回訓練キャンプ(2泊3日)を行ひ、急坂の山道を、バケツで水を運び上げ、ドラム缶風呂をたいた汗と泥まみれのキャンプ、これを隊格闘を願つて「根っ子キャンプ」と名づけました。

又夏のオ1回野営は、北秋川渓谷を行ひましたが、川原にテント設営、夕食準備成った時刻に、激しい夕立に遭い、その対応に大汗をかいたこと。

又本部テントでは、土屋团委員長、小保育成会長、そして隊長の私と3人で岩石の

寝ぐらで、一夜を明かしたヒ、等、今となつては懐しい思い出として心に深く残っております。 当初から入隊されたスカウトで、現在も頑張つておられるのは池田 実隆君(当時5年生)ただ1人となつしましたが、彼も立派な社会人となり、団の素晴らしいリーダーとして活躍され、後輩スカウトの先頭に立つて引張つける姿を見ると、本当に力強い限りです。

発団15周年といつても一つの経過喫に過ぎません。 杉並8団の年輪を更に太らせ、成長させるべく、微力を注いでいく所存であります。 関係者各位の情熱と善意の奉仕をお願い申上げ、わが杉並8団の益々の跡塗を御祈念申し上げます。 ありがとうございました。 弥栄

十五周年に寄せて

東 桂樹
(元BS隊長)

「スカウト募集」のポスターを町かどで見かけた43年秋、当時小学3年の卒と二人で応募し、お祖母ちゃん先生に面接したのがボイスカウトとの出会いでした。 44年初め 若杉小学校で行われた発団式 当日の寒かった事。 その中で駆け付けで下さった多くのボイスカウト友団、関係者の祝福を受けて聲を上げた一『ス88団』もう15周年との事。 CS隊の羽村キャンプや御殿場キャンプ等の参観、交通パレード参加や、奥多摩キャンプの下見。 そんな年月の或る日……

49年12月14日の育成会臨時総会でボイ隊のリーダーとして指名され、スカウト経験もなく、活動について知識もない私でしたが、小保育成会長と、抜き土屋团委員長のお言葉でCS長谷川隊長と二人 微力ながらも手伝いましょう、とお引き受けしました。 幸いにも引続いて赤城副長、海老沢副長とBS隊リーダーとして迎える事が出来三人力を合わせてスカウト活動に尽力み五十周年キャンプを荒ヶ原で行う事になりました。

現在のスカウトからは考えられぬ装備、技術ながら自衛隊、天野团委員等の御支援と戴きテント生活を始めました。 設営当夜から降り出した豪雨、負傷者、病気などの事故者も多く、三日目に野営を中止した無念さ、私の非力を痛感すると共に、スカウトやご協力下さった方々に対して申し訳なく、此の失敗を絶対に二度とくり返さないと自身に誓った時の事を今でも思ひ出します。

幸いその状況を見て以後多くのリーダーが出来、現在では、素晴らしい活動がなされているのを見廻し喜びにたえません。

発団初期に多き力示された。 お祖母ちゃん先生、泉原CS隊長、今村BS隊長橋副長、以上の方々の孤軍奮闘を思うと、ご苦労に心から感謝しますと共に、現在团委員としてスリーリーダーとしてご苦労頂いている皆様に、今後益々の御活躍を祈ります。 杉並八団 弥栄、弥栄。

十二年の歳月

(育成会委員) 宮崎 和子。

「だれだ! 靴の中に泥を入れたのは!」…
隊集会を終え、若杉小学校の体育館を出ようとしたリーダーの声。
このいたずらスカウト×君も今ではローバースカウトである。あの頃相次いで退団していったS君、M君、H君どうしているだろう。みんな個性のかたまりみたいな子どもたちばかりだった。彼らと横須賀港から護衛艦に乗ったこと。
管平学園の食堂(カブキャンプ)では、根子缶ハイキングで、すじ・タ立ちにあい、すぶぬれになつた衣服をかわかすのに、乾燥室(スキ用)のお世話になつたこと。
この時「タビ隊長」とあだ名をつけられた当時、幼稚園児だった次男も今ではニアになつている。

49年稻荷山の元米軍宿舎でのキャンプ。この時は、まずくもの藁を払い鳥の死がいのある部屋の掃除から始まり、電気もガスもない所で、懐中電灯をたよりに食事をしたこと。暗がりで後片づけをしていると、現東海林団委員長が懐中電灯で手元、足元を照らし続けて下さった姿が忘れられない。

物理的なことはともかく、精神的に考えることが多いキャンプであった。
涙したDMも多かったのではと思う。とにかくにも、このキャンプが团にとっても、自分自身にとっても大きな角があった。

また、毎年鶴が渡つてくる頃、パンの耳をパン屋さんで集めて清澄庭園へ行った事。
この頃キャンプの参加記念にと、白のTシャツにマジックで、動物や魚の絵を描いた。手づくりのカブシャツ。今も、たんすの引出しの中思い出をあたためている。通称、おばあちゃん先生こと中西副団委員長、泉原隊長に接するとピリッとしていたスカウトたち。そのおばあちゃん先生の願望は、恵まれない子どもたちの团を作ること。これら、はなつかしい思い出と常に交錯して、頭をよぎるのは… 49年から50年にかけ、团運営をめぐって迎えた大きな節目。

なぜなら、その時代水をさかつた一人が私自身であるから。

初代団委員長 故土屋義一氏、小俣育成会長のもと、多くの人が考え悩み
数多の試練が待ち構えていた中で、試行錯誤の末に一からの出直しがあった。
でも土台があったから、いろいろ問題提起がされたからこそ、次の出発ができると思われる。

あの当時共に苦労した人びとも転勤などを含め一人去り、二人去つていった。
しっかり支えて下さっていた、土屋団委員長をきあと、東海林団委員長のもと、
新しい体制で、スカウト活動がすすめられ、今では区内でも指折りの团に発展してきた。これからも地道に原点をみつけながら活動が続けられることを強く望みます。— 次代を担う子どもたちがよりよい社会人となるために —
スカウト活動に觸わりあって十二年。人に恵まれ、励まされ、教えられ、
学び得たこの歳月は、私にとって大切な歴史のひとつでした。
古きなつかしき時代を思う昨今です。

「スカウト、団、関係者の方々におめでとう申上げます。」

(団委員長) 東海林 義尚

省りますに、私がボイスカウト88団と関係をもつ様になったのは、私の次男が友人にさわれて、スカウトの制服にあこがれて、入団してからあります。
当時、私は仕事が忙しくて、それにかくれて余り子供と遊んでやれないのでありましたので、本人の希望にて許した次第で、これで少しは助かるなと思って居りました。
始めてのキャンプの時、子供は環境が少々変ると、喘息様の発作が起るのですが、心配して、キャンプ地羽村を訪内と云えば聞えは良いのですが、のどをに行つたのです。
そこで医師であることがバレてしまい、何人かのスカウトを診療したのが始まりでした。
以来、夏のCSキャンプには殆ど顔見せに参加しております。

当時は創設期で、中西さん親子が中心となって運営されており、現時の様に団会議、団委員会が仲々機能しておりませんでした。

又親御さんも、まだ充分にBS運動を理解しておらず、コミュニケーションがとれていない状態で、さぞや大変だった事と思います。創設期、種を撒いて下さった当時のご苦労に感謝致しております。

何回かのキャンプ、隊集会に参加し、講習会にて勉強しましたが、自分自身で現在迄の様にノメリ込むとは思ってもいませんでした。

昭和49年秋、稍々マンネリ化した団活動、リーダーに対して育成会員の向から激しい反対があり、あわや解散かと思われる事態になりました。

しかし、子供を思う親達の心が、故土屋団委員長、小俣育成会長を動かし、多數の親が関わって団運営が始まりました。今度は全くの素人の団ですから大変です。地区(当時は西武地区)より田尻さんをCS隊長として迎え、隊の指導団委員会、団会議の運営の指導を受けました。

当時の父兄の中から、東、長谷川、森田、宮崎、の名前は積極的にBS指導者研修所を受講したのを始めとして、多く多く指導者が輩出して参りました。

「子供等の為に何をなすべき」「BS運動とは」積極的なもので、諸々の活動に押されて、小生も「何かをしなければ」と思つ様になりました。
その頃より団会議は定期的に開催されておりましたが、未だ団委員会、育成会役員会も確立しておらず、合同会議ばかりでした。

長谷川代の強い意見があり、会議が分離され現までの様になつて参りました。
昭和52年9月23日、かねてより病に臥して居られた、前団委員長 土屋義一氏が御逝去されました。故人からも後を續むと云われておりましたが、皆様の推薦により、ヤット盛上り始めた団ですから一時、シャツボをかぶるのみで何もしなくとも良いとの事で、団委員長に就任する事になりました。

以来 今日に至っておりますが、これも一重に団関係者、リーダーの方々の熱意に支えられて参りました。この15年間思い出す事は沢山で、走馬燈の様に浮んで参ります。その一部を記してみました。今後とも子供達を愛する団として、BS運動をすすめて参る所存であります。育成会員皆様のご協力よろしくお願ひ申上げます。

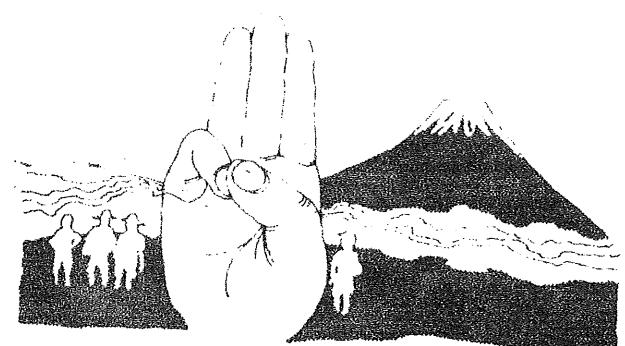
15周年に当って思う

(CS1隊長 篠崎 勝量)

私が(といふより私共が、といふべきだろが)、8団にお世話になつて、早や5年目を迎えるようとしている。8団に入つて5年目であるがリーダーや今は団委員、育成会の役員となつてゐる方々とは、もう10年以上のおつき合いの方が多い。したがつて8団のお世話になり、奉仕させていただくようになつても、何となく昔から顔なじみの方が多く、その上私自身他の団の経験もあることから、比較的、客観的に自分の団や、隊を見ることが出来て、しかも各隊長はじめ、隊スタッフの方々も、遠慮なく、良い意味で「いいたいほうだい」のご意見をいただけるのが、隊運営の責任者としては、この上ない幸せと思っている。よくご両親にも申し上げているのだが、「子供のためならエーンヤコレ」が私の主義であり、スカウティングも真の意味での「道楽の極み」と考へているからこそ、「良くあきらめず」どころか、「本すますメリ込んで」との状態となっているのが、本心である。「ボランティアとは最高の自己研鑽の場である」とは、一昨年だつたか、末日したボランティア活動家の英國の「某氏（名前が思い出せませんが、朝日新聞に載っていました）」の言葉であった。

何かやろうと思えば、そのことについて学習（この頃中国づいでいるので、どうもこうやう表現になりますが、まさにピッタリの言葉と思ひます）を深めないと、必ずいい加減なものになつてしまつ。もしくは思ひ立て浮き上つてしまつ。それを戒めた言葉として、常に心の中で、この言葉を唱えて、自己研鑽をし、又スカウトのご両親の忌憚のない、ご意見をもとに、少しでもいいスカウトにすることを、改めて考えつゝある今日である。

15周年を迎えるに当り、ホンネのいい会える団、それが活かされる団として、今後も発展していくことを望んで止まない。



杉並第8団 15周年記念にあたづ

(CS2隊長 深沢 公弘)

発団15周年おめでとうございます。

昭和59年、育成会総会は、杉並8団にとって記念すべき15周年にあたり、5年毎の節目の年のお祝いとして、各種の記念事業が育成会を中心に行われました。記念のシンボルマークと団のネックターフの制定や、昨年8月6日に実施された八千穂高原キャンプ場に於ける、合同キャンプなど、まだ記憶に新しい記念行事です。

今年度の育成会総会は、例年の定期総会に加えてスカウトも全員が参加して、15周年記念式典が挙行されます。発団より15年間経過した当団の歩みを認識し、先輩スカウトや育成会員が築き上げ、残してくれた杉並8団の伝統を、後輩スカウトが力強く受けついでゆく意味で大きな意義があります。

私達のカブス隊は、くしくも5周年と重なり、昨年は東京連盟より5年継ぎ頂き隊旗を飾ることが出来ました。

ご存知のようにカブ隊は、昭和53年に従来の1隊6組編成から1ス隊各4組編成に発展して早や6年目に入りました。

私自身も、長男が当団に入隊許可され、最初の年から新しいカブス隊に所属された関係で、カブス隊の歩みと同じ年月でまだ若い育成会員です。

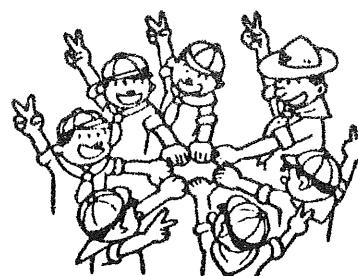
現在はカブス隊のリーダーとして奉仕させて頂いておりますが、15周年記念式典に参加して感ずることは、先輩諸代が大変なご努力で築き上げてきた5年、10年の基礎がしっかりしているから15周年記念式典をここに迎えることが出来たということです。

伝統を受けつゝだ者の務めとして、この良き仲間に恵まれたすばらしい杉並8団の伝統を守り、更に八の字の如く、未広がりに、発展させてゆく責務を感じております。

カブス隊は初代の橋本隊長の時代より、野外活動に重きを置き、父兄の積極的な参加を得て、カブのキャンプはすべて自然によって崩されており、父兄の多大なご支援を頂いております。

カブス隊の伝統は、今後も受けついで行きたいと思ひます。団組織の根幹を担う、カブスカウト隊としては、育成会、団のご支援を得て、杉並8団の伝統を受けつぎ、BS隊へ沢山のスカウトを上達させて行きたいと思ひます。

育成会及び団のご支援、ご指導をよろしくお願ひ致します。



祭団15周年に想うこと

(BS1隊長)

竹之内 奥

かれこれ10年前、東京288の一時期 杉並8団は脱皮した。
CS隊長に長谷川代、BS隊長に東代、地区から田尻ミッショナーの指導を
あおぎ、何も知らない、お父さん、お母さんがせりから出発を誓った。

台風に見舞われ多數のケガ人を出した第一回の滝ヶ原キャンプ。そこで得た
教訓は一にもニにも安全と云う事で、プログラム、下見、人的確保、装備に力が
籠られた。

今15周年を迎えて、当8団のパワー、团结力は地区の中でも、いや東京、日本連盟
の中でも誇り得るすばらしいものだと自負しています。

育成会、团委員、リーダーが一丸となって“何のために、誰のために”と云う合言葉で
お互に高め合い、融和し合っている姿は、感激すらおぼえます。

私の年少時代、戦争で母を亡くし、父、兄、私のバラバラに生活しながら…
食べる物もなく、着るものもなく、自分の事は自分でしなければ生きていけない時代
に、幼いながら戦争をにくめ、家族や隣人が楽しく、仲良く暮していける
事を願い、つらさや淋しさにいたる、無我夢中で生きてきた。

そんな体験が今日万のリーダーとして、大人として、子供達に伝えていかなければ
いけない“にがい経験”を味わせないためにも、みんなで力を合わせて今の時代の子供達に少しでもわかつてもらえたう……。

この気持ちがリーダーとしての責任感をかりたのです。昨年の15周年記念合同
キャンプの八千穂村のイベントは、私の人生にとって忘れ得ぬ一ページになりました。

リーダーをしていなければ味合えないあの感動…子供達の心に入って
共に樂しみ、苦しみ、これからも20周年、いや30周年における大いにがん
ばりたいと思います。

子供達と遊ぶこと…これが私の若さのヒケツです。

15周年を迎えての雑感

(BS2隊長)

赤城 伍朗

私自身手伝い始めて10年となり、思い出してみると最初の年(50年)には東隊長
海老沢副長と私の成人リーダー3名(全員リーダー1年生)で始まり、夏の御殿場キャンプ
で台風に会い以来、ボーイ隊のキャンプ(隊、班を向わず)には、雨が降り
あたり前となり、お陰で雨に強い隊になりました。

又成人リーダーもス隊編成ですが8名となり、更にお手伝い始めた時に
“このスカウト達は何時リーダーになって来てくれるかな?”と思っていた
新入スカウトが今、大学生となり副長補として、私達リーダーとスカウトの
間のパイア役を務め活躍している姿を見ると10年の早さを感じ、

(9)

又15周年を迎え、いつの間に大きな団になったのだろうと云う感じします。
スカウト達を見ると、今のスカウト達は班キャンプをよくやってくれるが、班集会が
少く、内容も変化に乏しい。又先輩スカウトに比べ意気が伝って来ず
少なからず歎がゆい思いもします。

幸い今年からローバー隊のスカウト諸君がグリンバー訓練を行ってくれるとの事。

他の団では考えられない素晴らしい事と思います。
教えてもらった事は、班集会に活用して、先輩達に負けない活動をくり広げ、更に
良い8団を作ってくれる事を期待しております。

私は二十周年に向けて後継リーダーの養成に力を入れなくてはと痛感しております。

15年目を八団のパワーアップに

(SS隊長)

島田 晃吉

昨年夏の合同キャンプ、そして今回の記念式典とこの二つの行事を中心とした15年目が
経過し、その流れの中で、スカウト、团委員、育成会の方々、それそれに15年目と
いう事についての思いがあろうかと思います。

田報の1号～90号までを読み直してみました。第1号は50年2月に発行されています。
その先の創成の頃は親い知りべくもありませんが、発行月がどんな期間が見られる
のは、田運営のご苦労が思われますし、ボイスカウトの組織、運営といったPR風
な記事からは、首を芳くながら方向を探った跡が残っています。

隊行事イコール田行事の時代から、原隊活動、田運営、育成会運営それそれ
の、役目に独立し、發展して来た現れまで足跡が記されている田報には、
スカウトが田の貢献であると同様な重みが込められています。

15年間の流れは又入とのかかわり合の15年間とも言えようです。現に關係され
ている方々を含め今迄にどれ程の人々が“八団”とのかかわり合いかはしうか
それは又一方では、時の旅人が、杉並八団という人生の里程碑の一つを通過する時、
その人にとて、杉並八団が、スポーツカウト運動にエネルギーを費したという
ことが、どんな意味を持つのかを考えみてみることも大切でしょう。

旅人の残していくもの、その積み重なりが、現在を支えていきとするとならば、今
たゞさわっている旅人も又、何を残し、何を得るのかという事でしょうか。

大きく成長した八団ですが、さらに今後の發展を考えると、田運営の在り方、
スカウトの進歩についての充実、指導者の養成、スカウトの位置づけ等々
考えすべき多くのテーマがあります。

古い良縁に新しい酒を一の言葉も在りますが、手を貸して頂ける旅人が一人も
多く立ち寄って頂けることと併せて、15年目という新たな認識を
八団の今后のパワーアップの為の踏台にしたいのです。



スカウティングは運動であって組織ではない — B-P
(Scouting is a movement and an Organization)

(RS隊長) 穂田 和志

15周年記念の年に当つて、私のスカウティングをふり返つてみますと、こんながらかって糸のよう
どこからが始まりか、想い出すのが困難です。

たしかなことといえば、長男が“くま”、次男が“うさぎ”的ときどき、私自身は
大変非協力的な悪い父親だったように思います。非協力であった理由は、まず
おいにテレたこと。団体教練的に見える部分に多少身がまえたりした事など、
つまらぬこだわりだったようです。ほどほどにと思ってつき合っていける中に、
ある日突然、カズ隊長の長谷川さんが深夜たずねて来られて、副長をやってくれと
かなり長時間ねばられ、最終的には身勝手な条件を付けたりして、少しいばった
風で、なぜかOKしたのでした。

カブ隊長が生明さんに交替したりして、少し慣れてきた2年目頃か、又してもある日突然深夜、今度はボーイ隊の東さんがたずねて来られ、288団(8団の前の団号)もどうしても、ローバー隊を作りたいから研究をしてくれとおっしゃる。

研究というなら何とかなると考えたのでしょうか……なぜかOKしたのです。後にこれは研究ではなく、隊長として隊を運営しようと云うことだったと気が付きましたが……。

スカウト4人、石井君浪人生で実質3人のスカウトヒギヤリで、しかし意氣揚々とローバー班“KAYAK”が誕生したのでした。

しかしこの時はローバー隊としての一貫プログラムではなく、隊装備も何一つなく、隊予算すら、ありませんでした。又年次スカウトが2人増え、6名の「KAYAK」となり、そこではじめてローバー隊独立宣言を行ったわけです。この時が丁度、発團10周年の年でした。

今年度のスカウト数は20名を越え、直算の8箇所ローバースカウトは31名となりました。途中現在のSS隊長の島田さんに副長をお願いして、当初予想もできなかつた立派な隊ができ上り、班も「エーコン」、「マッキンジー」、「コロラド」(いずれも河の名)と3班編成の堂々たるRS隊 KAYAK(隊の愛称)となりました。

予想しなかったにといえば、もう一つ予想しなかった問題が生じてきました。ローバー隊は原則としてスカウト未満という年令制限があります。従ってそれ以後はスカウト活動ができなくなります。この様なスカウトと併りに RS-OB といいますと、該当者が年々増えてゆくことになります。現行の RS スカウトの中から、RS-OBとなつてもスカウト活動を是非続けたいという強い要望が出でおります。これはもうローバー隊のみの問題にとどまらず

8回の団としての課題でもあると考えられます。団の問題としては、同様な問題として、もとデンダット、デンマークの方々(仮りにDD-OB、DM-OBといいます)の中にスカウチングに対する熱烈な運動が盛り上りつつあることです。

私が問題として提起したいことは、標題の B-P の言葉にあるように、工記の OB の方々のためのボイスカウトとしての組織はたしかにありません。

参加したいと、望んでいた訳ですから、この未知なる熱意を何か一本化して Moment (運動) とする研究を、15周年記念の年に当つて発足させることを提案したいと思います。

現役OBの皆様——この提案についてのご賛同、ご意見、ご提案などをお寄せ下さい。田報への投稿稿、お時間がありましたら拙宅へおでかけ下さい。

又はお電話いただければ、どちらでも伺います。
おおいに熱く語ろうではありませんか。（昭和59年8月2日 15周年記念の年に当つて）

横がおシリーズ②でご承知かと思ひますが、副国務長官天野さんのBS隊キャンプの支援は有名です。

昭和50年以來、毎年変りぬ奉仕などなかなか出来ることではあります。本当に素晴らしいことです。今后も益々お元気で頑張って下さい。

天野さんより今迄奉仕なさいましたキャップ地の原稿をいたしました。

杉並八田ボーイ隊キャノンフロ地の変遷

(副團委員長) 天野 英男



尚上記の八重シンボルマークは15周年記念を機に公募しまして原案 天野さん
構成三谷さんにて出来上がったマークです。早速シンボルマークを刺しゅうした
タオルも出来上がり、行事に着用しております。

(12)

15周年に想うこと

(RS隊副長)

天野 芳彦

15周年といふ事で何でもいいから、と云われて書く事になつたものの、
何を書いていいのか、迷うばかり。

昨年スカウトからリーダーへとなつたのだから、スカウトとしての15年を、ふり返って
みようか。とも思つたが、まだスカウト気分の抜け切らない私としては、それも
なかなかまかない。15周年は終着点ではなくて通過点なのだから、余計もう感じるのだろうか。

時間と書き損じの原稿用紙だけが、やたらと増えて行く。

そんな訳で何を書いても本とまりとうにないので、思いつくまま、私の15年を
ふり返って羅列してみる事にした。

① CS入隊

カブってどんな事をするのだろう。と期待し、初めての舍管では咳が止まらず
良く眠れなかつたつけ。

② BS隊

なにか少し偉くなつたみたいだつた。班長が大人のように見えたのが印象的。
中學1～2年の頃、一番一生懸命やつたけれど、同時に一番やめたくなった
時もあつた。クラブとの両立に悩んだ時期。

③ SS隊

杉並5団のSS隊へ留学。カヌー作製、千曲、信濃川下りを行つても渇水で
随分苦労したつけ。

④ RS隊

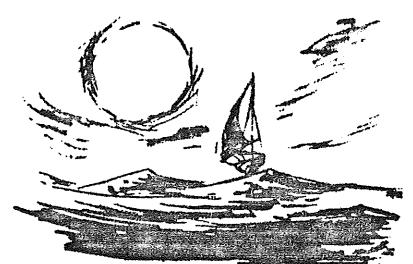
最初はリーダー1、スカウト4名。何をやつたらいいのか見当もつかず……
隊長を中心にして、ローバーとは何かをしようと話し合つてた。

年々人員も増えて隊へ昇格。

もっと色々な事があつた。月並みだけれど、辛かったことも、楽しかったことも。
時々人に「まだやつてんの」と半ば感心、半ばあきれたように云われ
たりもあるが、私にヒット続けて来たことが、一つの誇りでもある。

これまでリーダー、両親など多くの方々に助けられて来た私である。

これからは次の世代のスカウトの為に少しでも役立つように頑張りたい
と考えている。



(13)

BS隊 → 奉仕行事

寿樂花清掃奉仕のこと

昭和51年9月26日CS隊が老人ホーム「寿樂花」を作りのプレゼント持参で訪問しました。翌52年よりBS隊が清掃奉仕を兼ねて11月23日(勤労感謝の日)恒例行事として訪問継続8年目になります。老人ホームのお年寄りの方々は毎年その日を楽しみにしております。15周年に当て「寿樂花」より皆様にお便りが届きました。

(社会福祉法人 双葉会)

特別養護老人ホーム寿樂花長 原島 義全

今年は東京にも雪が多く積つて寒気が強く、又悪い風邪が流行つて学校も
休校が多くあつた事でしょう。そんな中で皆さんお元気で隊員としての訓練に
或は、学校の勉強に励んでいらっしゃることと思います。

ここ算多摩も零下の寒さが続いていますが、老人ホームのお年寄りは、暖房のきいた
暖かい部屋で、身体の不自由を克服していろいろな趣味の会やゲームを楽し
っております。

お開きをするところによると、皆さん杉並8団を結成15周年を迎えたのとて
大変おめでとうございます。この15年間のうち 8回も皆さん、それから皆さん
の光輝は、11月23日の勤労感謝の日に、私達の老人ホームを慰問され
各お部屋のガラスを拭きながら、お年寄りと楽しい会話を繰り広げて下
さいました。どんなにかお年寄りの方々は、励まされ、楽しい時を過されたか、
はかり知れません。本当に有難うございました。

元気な皆さんを見る時、家族のことを思い出された人もおり或は元気だった自分の
昔をふり返つて心なじんだ老人もありました。それは皆さんが帰った後必ず
話題がはずんで、豊かになるからです。

皆さんは才8団に入られて、心身を鍛錬し、集団の社会を学ぶことが目的で
しょうが、その中でも他人を深く理解し、温かい心で交ることの大切さをしつかり
学んで下さい。

人はどんなにお金がある一人ではとても淋しくて生きていけません。常に他の人
がいるなければなりません、だから他人は自分と同じに大切なものです。

今年も11月には是非お出でになって下さい。

160名のお年寄りがお待ちしております。

本日15周年の記念にあたり、日頃のご奉仕に感謝申上げると共に皆さん
益々のご健康と、杉並才8団の發展をご祈念申上げます。



(昭和59年2月12日)

(14)

このページは記念式典プログラムなどの整理にお使い下さい

15周年記念に思う「団報」のこと

(団委員) 小鳴 宏明

最近になって団報の1号、2号にやっと巡り会うことが出来ました。保存してある団報綴りもこれで90号迄完全なマイクリングとなり、約15cmの厚みとなって居ります。

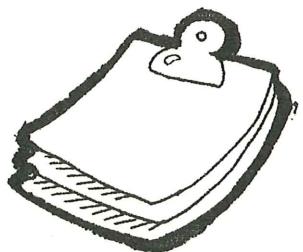
団の創立15年という今年、奇しくも「団報の厚みが15cmに達した」という事は杉並8団の歴史の刻みと共に团を支えて今日の杉並8団の発展に陰に日向たに尽力された人々の、力の重みが如何に大きく、熱いだったかの証拠に他なりません。

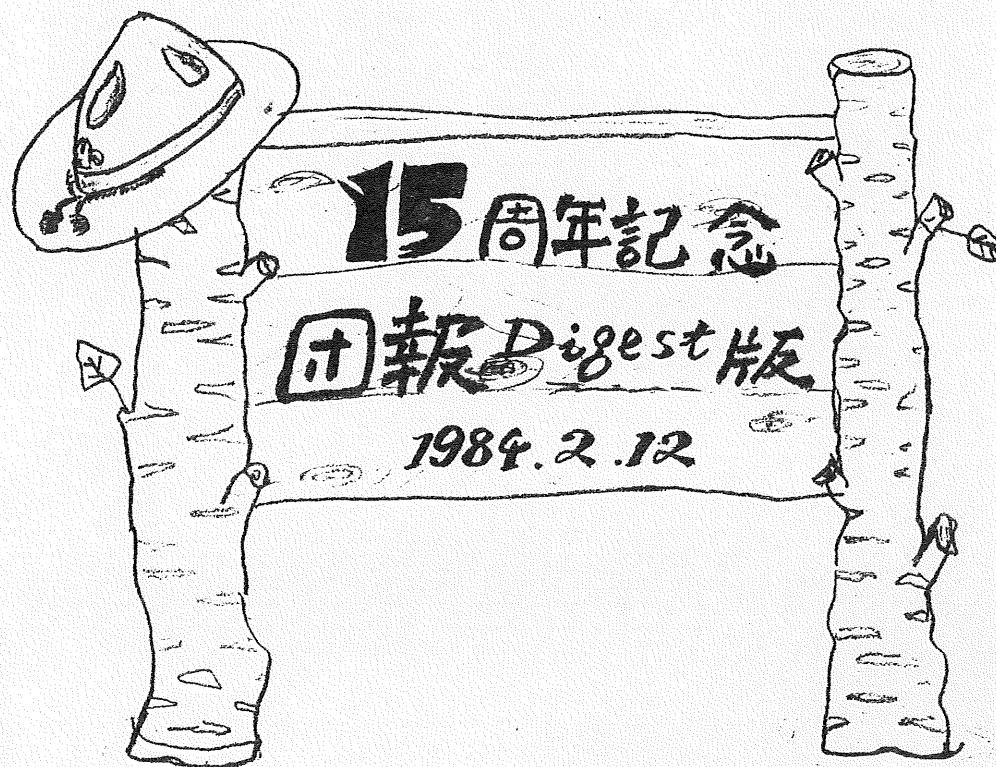
さて、我8団の「団報」はご存知の通り毎月必ず欠かさず刊行されております。団として基礎を固った昭和50年2月に「第1号」が刊行され、それ以後毎月絶えることなく、団の全ゆる出来事が団報として私達の手元に届けられております。団のスカウティング活動の活潑こと、表裏一体となって、その活動の状態が、私達育成会員へフィードバックされる。文字通り田舎族の柱となっている団報ですが、恐らく定期的に刊行されているのは、我8団だけではないかと思ひます。

それにしても、この連綿と続いている団報に携わっている広報担当団委員の方、及び惜しみない協力をいただいています。お母様方の努力は大変なものです。

団創立15年の重みと、厚さ15cmの団報の重さに勝手とも劣らないこれらの方々の熱意と努力が、我杉並8団の飛躍と発展の源泉となっているのではないでしょうか。

今后も名誉と歴史ある団報がいつ迄も継続くようて精進下さる所を願ひ致します。





編集: 杉並8団委員会広報

東京288団夕報

昭50.2.15
団委員会庶務

○定期団委員会及び団会議

2月5日商店会事務所にて午後7時より11時まで、これから
の288回の活動その他について大変熱心に討議が交わされ
ました。

出席者 土屋団委員長 泉原副団委員長 小俣 東海林、
小島、今村、天野、都築、近藤各団委員
田尻C.S隊長、東B.S副長、長谷川C.S副長 宮崎
C.S副長 計13名

1)新入C.S隊員面接

日時 2月9日(日) 午後1時
場所 白山神社

C.Sの長谷川副長より、父母の協力と理解が一番大切な
その点を大いに留意して面接に立合いたいとの提案があり
全員丁承いました。

2)登録

登録証は毎年更新されるものであって団指導者はトカラB.Sの隊
長、副長、B.Sの級別、C.Sの隊長、副長、D.M D.C リス
ウサギ シカ クマ別に各自配布されます。50年は2月16日
が期日なので各自登録に必要な事項はすでに提出していく
に事と思います。

3)備品(天野団委員より)

1月の隊集会で白山神社境内にテントを張るなどB.Sによって
備品調べが行われました。
炊事用品は3点セット(深ナベ)2組を新調、これで班ごとに前い
ました。夏期キャンプまでに二ヶを使用して実習を行な、細部
の検討を始めたいと思ひます。又B.Sから2~3人用軽量テン
ツ(上進テストハイク用)を2~3張 キャンプの場合の本部用フ
ライシート等を購入してほしいとの要望がありました。

4)野営...宿营地(天野団委員より)

宿营地の早期確保は大切なことで 千葉 水戸 御殿場の自衛隊
に打診したところ 交通の便、その他で御殿場が最適のよう
でした。費用、施設、集会場、雨天の場合の避難場所等は現在
調査中です。いずれにしても50年のキャンプは大変樂しく
有意義なものになりそうです。

511

今度の総会で検討いたしますが、育成会員は十四位、若い込み方法は銀行口座振り込みによる予定です。

6) 上進式

4月13日(日)の予定です。
この日、総会も持ちたいと思いますので全員ご出席ください

C.Sリード～からのお知らせ

- ① 育成会員(ご両親の事です)の皆様は 毎月1回の隊集会に、
ぜひ出席して C.Sがどのような態度で どのような活動に参
加しているか よく見聞きして理解を深めてください。

② カブブックの復習は ご両親の協力のもとに 楽しく取り組
めるよう援助してあげてください

③ 欠席の場合は必ず D.Mに連絡してください 何事に依らず
リーダー D.M D.Cとの連絡は密に力を合わせてやりましょう

④ B.S 上進の方！ C.Sの制服ご不要の方で 隊に寄附してく
ださる方歓迎します。

この回報は 298回がより豊かに成長発展するよう企育成
会員の協力と理解を深めるため 以後毎月 回のあらゆるニエ
ースをお届けしたいと思います。
ぜひ 丁寧に目を通してください。
又 どんな些細なことでも 貢献 提案があれば、隊員 副長
D.Mの方へ申しでてください。

ぼくはキヤニアの思い出が四つあります。
一つは行く時、暑さです。くわしく書くと
一日目はすごい暑さでした。その中で11時も
あるリニックをおって、
「あと半分してあと13時半」と言われたが、
歩いて行き、やっとキヤニア塔に着いて、
もう茶を飲んだ時のかいぼう感が忘れられ
でした。
二日目は水くみのつらさです。
水は給水車からは二歩のですぐ、ぼくたち
一W・ベアーのテニトサイトは給水車から、
一番遠く、200㍍くらいはなれています。
ぼくはまだ初級なので水くみばがりやりさせ
られるのです。そのたびに200㍍はなれた給水
車まで行き、20㍍はいるボリタシクをもつて
くるので苦労しました。しかし苦労した
だけに心に残っています。
三つ目は、マギムロイに遠くまで行って
しまって心配させてしまったことです。
これは島崎さんですが、
ママギは、もう二うの方へ行くとたくさんあ
るから、行ってとつてこいしと、言ったの
で、ぼくと竹内君は、テクテク、トコト
コ歩いて行きました。途中で桜井さんにく
きました。なぜかというと、桜井さんは、行
きました。

いつもたくさんマキをとめてくるので、ぼくたちは、とててこようと思つたからです。しかし、ずっと行くと基地の外へ出るくらいがあつたので、びっくりしてひきかえしてしまった。すると、赤城副長と班長たちがぼくたちの名を呼んでいました。
ぼくたちは、えらいことになっちゃつたな、と思ひながらつただいま。しかしまた、そうしたうれしな笑いながら、あまえたちどこまでいいだんだよ」といわれ、今までのことを全部話して、やさしいためをがづがづ食べました。
あらど三の、やさしいためのがいしとは、今でもおなじの感にしまつてあります。

（今度は最後、桜木とりのことです。）

これは今までの、つづりおもいでとちがつて樂じひことです。桜木とりは班長の声や、みんなの「おくれ」に行つて二ーいしの声からのがれて、松川君や神野君、中平君たち他の班の人と一緒にしゃべりでざる樂しい時間でした。まさに桜木とりには必ずトラックで行くのでトラックにのれるたのしさがあり、桜木とりに行くそとじうホイップルがなると、あつといつたり、早くホイップルがならぬひがんでいふと、まだおしくなつた二ともあつたほどです。

これでぼくの思い出はおしまいです。来年は、これをもとにし、もっといいキャラクターにしたいと思いました。

9
26

走人亦一公訪同
場所。東京都西

人未一ム訪問
端所 東京即西多摩郡奥多摩町 海沢

カモメ 展平氣
（現師隊副長補）

電話口四二八八一三一ニミハ八
社会福祉法人 双葉会
特別養護老人ホーム「春樂荘」
スカラウトが組集会で作つた工作を一
つおつ持ち寄つてアレンジメントする予
定です。
今村田委員のお力添えで観光バスで
現地まで行かれます。訪問後
漫めぐり、ハイキングを予定してい
ます。

赤い羽根共同募金

15:0
17:0

赤地に苔草色のラインをあしらったもので、赤は太陽、苔草色は新しい芽を意味し、これから世界を背負つてたゞ子どもたちを育むわしています。

18号
(51. 9. 25)

(51. 9. 25)

すはうしやうたギヤンア生活

卷之三

浩祥

「いつでさまで」と言つた僕と「ただいい
き」と言つた僕とでは、全く別の人間だ
った。その理由は、キャンプでいろいろの
事を学ぶ、いろいろの苦労を重ね、いろいろ
の学歴を知り、又、いろいろな思いなど、
楽しいことをやつてのけてきた僕だからだ。
キャンプで学んだことは、国旗の降綱
のやり方、世界の国旗と国連旗の意味など

手旗は最後の方になると、二手に分れて、忠口の言いあい（もちろん手旗で）になりしまいには小島さんの悪口まで出る始末でとてもふもしろおかしい講義だった。又、重ねた苦労は、夜暗くなつてから食器洗い、便所掃り、メントサイトの清

しかし、それ以上に樂しい事があった。
せんぱいで大声を出して歌いながら協力して作って食事を作るなどと言うことは、ホーリスガウトなうではの樂しみだと思う。
せつめくこの感想文も良い幕切れをしようとしているのに「悪い事」を説明するのもなんだが、~~机~~にしておこう。
では、班員全員で協力して、最優秀賞をとったかも? 班よ! 来年の一年にすばらしくキャンプ生活に向かって出発進行!!

(打毛×班)

CS隊 加藤かづ子

ギャンで キヤンで
スカウト達の待ちに待つたギャンでの日が、
やはり一株の不守がありましだが、そんな事
は岡部町についてすぐ吹とんでもしまいました。
がはんだ、ごはんだ、とお食べよ。
今迄外で遊んでいたからト達がマアーツヒ
部屋の中にもどってくる。何とも樂しい風景
でした。追跡ハイクでの皆が真剣体まほざし
緑一色の茶畠を流した汗の心地良かつてこと
キンキヤンマフアイア。これは荷物でした。
窓の中に踊る・静と動の赤い炎の中、肩をく
みながら歌、にこと、ピク石採石では、けれ
しい山を登り頃上での緊しいケーブルに時のた
つのを感じ董心に返つて走りまわり、又、河
原での飯盒すいさんにお話を打ち、どの組も
ケーブルが一番おいしくできたりと満足気でして不
下見をし、スカウト達の安全に心がけて下さ
ります。

(52. 4. 25) スヌ号 より
早くは二のキャンプに参加して非常に良く
感じています。と同時に二小から駆け立つ中さ
のキャンプにその成果を大いに發揮して中さ
たないと思っています。今までのクリンバー
キャンプは、あまり良くはいけません。私は
例をとると炊事が一番で、それがついていま
す。それにあまり工作物も作らなければなら
ない。それもあり工作物も作らなければなら
ない。成績もありませんでした。
二のキャンプで一番良かったのは、寒い夜
を過ごしたことです。ぼくは寒さを甘く見て
いたので、一晩中起きては床に寝てスクリュー
いでしに。でも二人の班キャンプでは暖か
く寝を過ぎさせることでしる。
もう一つ良かったのはタルトの和でした。
一応次長という二とてしたが班長はリーダー^ト
だつたので、ほくが直せつ命令しました。す方
とけんば最も聞いてくれて工作物も良かつた
し食事もうまくいきました。
そして班キャンプでもうまく計画を指揮す
る方法など考え方をさせてくれました。
その他にも食品保存などの作成、鳥の調理
徹底の順序などいろいろ勉強にもなりました。
最後に野営地をたつと“いやこか”を送
りましたが、ほんとうに感謝の気持ちでいっぱい
で、ただすあります。どうして思うだけでした
がであります。
さつと班キャンプでもよい成績を収めること

122

(21)

雲取山に
行って

桜井 隆
(現RS隊)

久ス号

より

(54.6.16)

この山行まで最後まで心に残っていることは、飯が少なすぎたこと、睡眠時間が少なかったこと、それと森田君がよく最初から最後までさわぎ続いたことです。1日目の行程ではどこまで行っても坂、休みがとても待ちどおしかった。回りはまづやつとセッ石についていた時はもう夜中でした。ここで第一のボーグとニアの差がでました。それは、テントがドーム型でホールを入れればもう立ってしまうのです。そしてそれがとても軽いのです。

2日日の朝です。ここでボーグとニアの決定的な差がでました。それは飯をつくる時はガソリン式のストーブを使ってやるのでまきをひろてこないし一発点火、火力は自由。

雲取山に何から出発。途中で荷物をかごして軽くなって歩きます。空気はうまいし、高くて気持ちいいしなんとかは高い所が好きなのです。最高でした。途中で何とか雪が残っていたのです。そして頂上。頂上は人が多くてちょっと予想外だったのですが、そこから道をおりて宿泊地に。

3日目は雨がふったりとんどりで、ジャンボリーを思い出すような雨でした。そこからバス停まで歩きバスで奥多摩まで。もう帰りはくたくたのへとへと。山を登っている時は「もう山なんてこないぞ。」と思っていてもまた行きくなってしまう。やはり山は、ニアは、楽しい。

上道キャンプ。
~~~~~

白馬班 山口 功 (現RS隊)

4月28日、29日、30日を使って鳩沢からセッ石小屋、雲取山を経て峰谷まで行った。今回のキャンプでは、ニアに上進して初めてのキャンプで、重い荷物を持って夜間登山をした。僕にとって重い荷物をはって、しかも夜に登山するのは初めてで、くつあけはじめでなく、歩くのに苦労した。

焚窓を出発して約2時間半、やっと登り始める。登り始めてから30分もするともう夕食。弁当を食べたのが、わりかし暗く、あまり食欲がでなかつた。そこで歩いた時間よりも長く休んだ。長い時間歩いた気がしたが、休んでみるとたったこれだけしか歩いていないのか、と思った。しばらく歩いた。もうこの頃は坂の上に夢中になっていて、時間はあまり気に付かなくなってきた。22時頃に水飲みをかねて中休止、ここで1時間休んだ。ここでも歩いた時間と休んだ時間が同じくらいになつたが、やはり歩いた時間のがくれた時間よりも数倍長く感じた。それから休みを途中に入れながらセッ石小屋へ20分の所まできた。それから30分は、急坂でもうへとへと。そしてテントをはって寝た。予定では雲取山まで行っているはずだが、大中に遅れた。

2日目、雲取山に向う。途中荷物をおいて行ったので茶だった。雲取りを下りて昼食を食べ、峰谷へ。峰谷へ向う道がしばらくつかれてなかなからしく、ひどかった。そしてついに道がなくなりってしまった。山の中腹を下りて行く。枝は頻にあたるし、ころびそうにならしもう大変だった。やっと沢に出ておはだけた橋を渡りしばらく行くと、車道に出た。そしてすぐ目的地がみつかり設営。あとは普通どおり



(25)

に飯をつくり寝た。

3日目、やっと帰れる。雨が降てセレモニーが遅れたため、昼食とバスの予定時刻が近いため、あわてて昼食をつくり、かたづけて出発した。そして焚窓で解散。

最後に、今回のキャンプはニアに入つて初めてのキャンプで、ボーグの時といろいろな道具からかっていた。ストーブにテントetc.これらを早く使いこなせようになり、早くニアのやり方に慣れようと思う。

久ス号

より

(54.9.20)

ニア隊夏季キャンプを終えて

SS隊副長 池田安隆

この8月2日から8日まで丸一週間、ニア隊54年度夏季キャンプが行なわれました。一週間の長期キャンプに参加するには、自分としては々々なので、期待と不安の混じた気持ちがあり、さらに、ニア隊副長としての責任も大きなものでした。

キャンプ中は、一週間無事に目的を達し終えることで夢中でした。いざキャンプを終えてみると、考えることが沢山あります。

ベースキャンプをはり、そこから各班ごとに一泊をはさんだテントを持たずのビバフ移動は、各参加班員の心に強く印象づけるものがあつたに違いありません。今までになかつたものをつかんだのではないかでしょうか。

私も蛭ヶ岳山頂にてハイカーの休憩テーブルの下にもぐり込んで夜空をながめながら、寒さにたえながら寝た、ということは、今までにない大きな体験でした。

さらに、ベースキャンプにおいてサト造りをするだけではなく、カヌーを10死に40協力して完成し、こいだことは、大きな喜び以上のものだったのです。日程と材料購入の関係などなどで、とてもキャンプ中には進水は望めないと思われていたからです。

これら2つの大きな成果のほかにも、教え上げればきりがないほどの収穫がありました。それは、草に物質的なものだけではなく、精神的、内面的なものであり、自分がスカウトとして、隊リーダーとして、さらには人間として得るものだったのです。

昭和54年8月のニア隊夏季キャンプは、今までの自分が体験したキャンプの中では、思い出深いものの1つとなつたのです。

最後に、ニア隊キャンプに奉仕参加して下さったローバー隊の横田隊長石井君、全日程参加の東君どうもご苦労さまでした。この場をかりてお礼を述べさせていただきます。

(26)

長者舎 団体社奉仕

SS隊

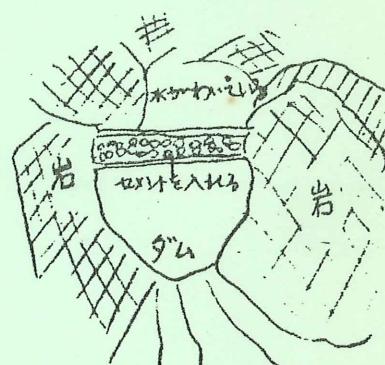
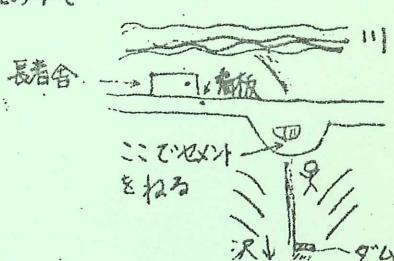
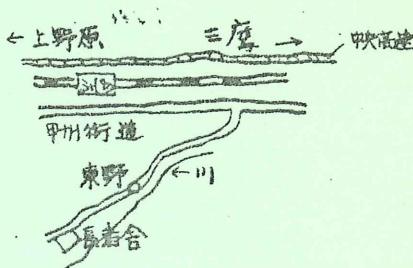
白馬班 小泉善裕

9月の1日から2日にかけて 内沢の長者舎という所へ行った。これは、今年の8月上旬にこの内沢で我々SS隊が夏季野営をやった関係で、この長者舎の主人の、水道工事の手伝いに来てくれ、との要請に応えて奉仕に行けたわけだ。リーダー6人、スカウト2人、水泳8回として出かけたのである。

1日、土曜日の夜 10:30に荻窪出発、内沢といつても車でとばかり2時間ぐらいで着いてしまい、真夜中 12:30ごろ長者舎に着いて消灯になった。

翌朝8時ごろから工事開始。工事といつても簡単にいうとつり沢の水が湧いている所にその水をためる貯水池的な約1mぐらいのダムを作ろうという主旨のもので、手順としては、木でワク組みを作ってその中にヤメントを流し込むのであるが、場所がちょっと奥に入った沢にあるため、結構苦労した。人海戦術が功を奏して午前中にはほとんびり完成した。なかなか立派なものができるのではないかと思う。

結局、今までこのような形にのこるような奉仕をしたことがないように思われ、その意味ではなかなか意義のある活動だったと思う。またしばらくしてからその現場へ行ってみるとなつかしい思い出となっていると思う。



RS隊

46号  
(54.11.24)

友情交歓会を前に

ローバースカウト隊 友情交歓会企画担当

天野 芳彦 (現RS隊副長)

立冬を過ぎ、いよいよ今年昭和54年も残すところ1ヶ月余りとなり、わが村並頭の団行事も友情交歓会だけとなりました。各隊とも夏季キャンプを無事終了させて、もうそろそろ落ち着いた頃かと思ひます。今年を良い年にするかどうかは、友情交歓会という今年最後のプログラムにかかるいろいろのかもしません。

さて、その友情交歓会まであと半月余りです。考えてみれば、もう友情交歓会も10回を数えようとしています。そもそも新しい企画を…などという声がリーダー同士でし出てきました。そこで我々RS隊は、隊会議でこの企画を担当する事を決め、団委員会・団会議の承認、援助のもと、企画を練りました。

今年度のテーマは「8回カーニバル！」です。各隊のP.R.、各隊々員向の親睦リーダーとスカウトの親睦などの点を考えて、スカウトもリーダーも、そして育成会員の方もみんなが楽しめる友情交歓会にしようと努力してきました。

各リーダー、RS隊々員が頭をしぼった企画が待ち構えています。育成会員の方々もぜひご参加下さい。

さてさて、どんな企画が飛び出すでしょうか!?  
請う！ ご期待!!

48号  
(55.1.19)

RS隊

小島一郎

友情交歓会「八回カーニバル」の御礼

さる12月16日(日)、毎年恒例の友情交歓会が行なわれたわけですが、今回に限り形式を今までとは少し変更、「八回カーニバル」と名づけて祭のように行なう計画を我々RS(ローバー隊)が引受け、天候に恵まれ、かつ皆さまのご協力により無事終了できましたことをRS隊一同感謝いたします。

もちつき大会

このもちつき大会も、毎年恒例として行なわれますが、今回の企画もやはりRS隊が担当させていたたくことになっております。もちつき大会も毎回ご父兄の協力を行なわれていたわけですが、今回はできるだけスカウトを中心に行なうと考へている次第です。舉てどれづれのことができるかわからせんか RS隊員、一生懸命やらせていただきます。  
(詳細については、ページをご覧下さい)

55号

より

(55.9.13)

夏の神津島

カヤック隊 石井 孝(現SS隊副長)

7月21日 4時50分 小生は隊長をはじめとする他のカヤック隊の連中より1日遅れで朝の神津島に着く。

竹芝からひと晩 船にゆられるこになっていたので 船酔いを心配したが、昨夜は船中で知り合いになった人とチヨット一ぱい!

また、海が荒れなかったことも幸いして、どうやら船酔いは免れた。しかし、睡眠不足のせいか、船から降りると少々しんどい。これは小生だけではなく、乗船者共通の感覚らしい。

ここから目的地である多幸湾のキャンプ場は、ちょうど島の裏にあたる。バスを利用すればよいのだが、慢性的な金欠病に悩む小生は、バス代のことを考えて歩くことにした。夏の朝の海を背景にリュックを背負って一人で歩くのは気持ちの良いものだ。しかし、時間が経つにつれてTシャツは汗臭くなってくる、「やはりバスにのるべきだったか」と後悔している刹那、ダンプカーが通りがかりヒッチハイク。目的地へゴー!

5時57分、目的地着。みんなはまだ寝ている。みんなとの挨拶よりも先に小生もテントでひと眠り。

8時30分起床。改めてみんなと挨拶。9時45分 朝食後、長浜へ泳ぎに行く。ここの中までは交通の便が悪く、まずキャンプ地からバスで港まで行き、さらに1時間近く歩かなければならぬ。従って、他のうろさい観光客はほとんどこの浜を訪れない。

12時9分 長浜着。そんなわけで、この浜はカヤック隊のプライベートになってしまった。カヤック隊の連中には、泳ぎよりも、セッセとサンオイルをぬりたくり体を思ふことに夢中になる者もいれば、泳けないことを理由にゴムボートを独占する「問題児」もある。しかし、隊長を始め、ほとんどのスカウトは、水中メガネから見える魚や潮騒と戯れるごとにカシキしていた。

13時20分、昼食のあと、前浜で泳ぐことにした。この浜は、長浜とは逆に、人がワンサといふ。長浜での小生の視線は、専ら紺碧の海と空を向いていたが、この浜ではどうしてもビキニ姿の女性に向いてしまう。

16時30分、バスに乗車。小生たちの時であるキャンプ地へ。

19時6分 夕食。献立は焼肉とササエ。ヒールをついたらみんなで乾杯!

22時10分、多幸湾の浜で花火。この時、島で知り合った柏の団のSSを招待。東スカウトが面白い中国花火をたくさん買ってきてくれたので、とても楽しかった。また、夜の静かな浜に花火の音が鳴りひびくのが印象深かった。

この日は 0時10分消灯。



(29)

7月22日 8時30分起床。10時

15分朝食のあと 10時55分 昨日の

午後 泳いた 前浜へ行く。みんなそろそろ泳ぎに疲れたらしい。

昨日とくらべてチヨッピリ活気に欠ける。(しかし、浜は相変わらず波を立てている。

13時10分、みんなよりも1日早く東スカウトが帰った。みんなで港まで送りに行つた際の、彼のチヨッピリつまらなそうな顔が脳裏に焼きつく。

13時50分昼食、14時15分夕食の買い物。魚屋で話し込んでしまつてバスにのる遅れる。

16時、キャンプ地着。

19時、夕食。天野(芳)さんの作った魚料理がうまかった。

21時30分、明日帰りの船中で食べる巻き寿司を作る。この行事は1昨年の八丈島キャンプがら カヤック隊の恒例になりつゝある。

23時50分 消灯。

7月23日 最終日。8時起床。

9時30分朝食のあと、10時20分撤営。比較的迅速に仕事が進む。

11時44分最後のセレモニー。「これから先、みんなそれぞれ各隊のキャンプにリーダーとして参加するか。ハーフ旅行のガイドのようになるな。」という内容の隊長のコトバが印象的だった。

12時発のバスをあとに港へ直行。13時24分乗船。柏のSSが見送りにきてくれた。結局最終日は海をながめろだけで泳げなかつたのか否か。船中ではみな疲労のいろをかくしきれなかつた。

59号

より

横かおシリーズ①

(56.1.24)

東海林義尚 団委員長

\*横かおシリーズは只今  
㉖で続りられてます

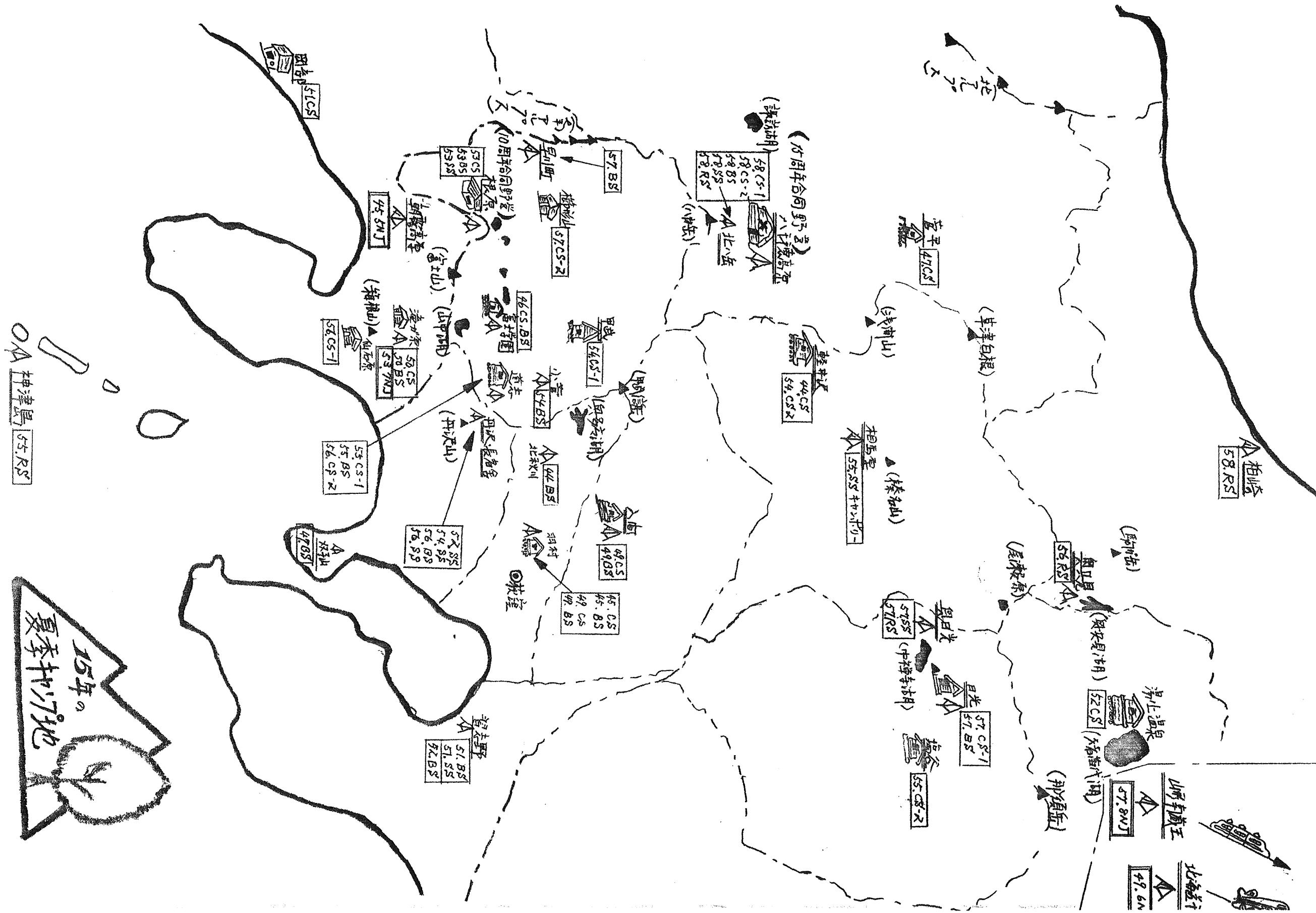


(1ラストCS/隊員登録)

「団委員長」というと、真人君子のようにエライ方で……とすぐ思ってしまいますか? どうして、実は酒もタバコも嗜み、(お医者さんですぞ)女性には実に? やさしく、そして麻雀、ハーリン等などキャンフルは何でもわかるのかしら? 知れません。(ご推察におまかせします) 私に申し上げられることは、奥様の深いご理解と愛情に支えられ、良きスカウターとして、杉並地区健康安全委員長 東京連盟健康安全委員にと、活動されている思いやりのあるすばらしい方です。称榮を心から祈ります。

長谷川 峰雄

(30)



| 年<br>行事  | 43<br>1968                                                                                                                                                              | 44<br>1969                                                                                                                                                      | 45<br>1970                                                                                                      | 46<br>1971                                              | 47<br>1972                                                                                                              |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          | 日本ボーイスカウト東京連盟第288団<br>のあゆみ                                                                                                                                              | 日本ボーイスカウト東京連盟第288団<br>のあゆみ                                                                                                                                      | 日本ボーイスカウト東京連盟第288団<br>のあゆみ                                                                                      | 日本ボーイスカウト東京連盟第288団<br>のあゆみ                              | 日本ボーイスカウト東京連盟第288団<br>のあゆみ                                                                                              |
| 団        | 8.9 発起人会<br>9.17 設立準備会<br>10.19 入隊者公募及び説明会<br>11. 登録準備<br>12.23 団委員・カブ隊初登録                                                                                              | 1.7 初期登録<br>日本ボーイスカウト東京連盟第288団の誕生<br>団委員長 土屋義一<br>育成会長 小俣春雄<br>3.4 第1回団委員会<br>4.27 発団式(於若杉小体育館)<br>登録認定書授与<br>カブ隊・ボーイ隊へ隊旗授与<br>12.26 友情交歓会※                     | 2.1 入隊・上進式<br>2. 団備品庫白山神社に設置<br>8.6~10. 第5回日本ジャンボリー<br>朝霧高原・B.S 5名 参加<br>10.10 交通安全パレード<br>C.S・B.S 参加           | 5.8 入隊・上進式<br>9.26 交通安全パレード<br>C.S・B.S 参加               | 4.23 総会及び入隊・上進式<br>7.9 母の会発足<br>8.19 夏期キャンプ反省会                                                                          |
| カブスカウト隊  | 10.20 B.Sと合同初顔合わせ会                                                                                                                                                      | 隊長 泉原八恵子<br>3.15 NTVドライブゲーム出演<br>7.23 軽井沢・合宿(3泊4日)<br>10.1 赤い羽根共同募金※<br>11.1 東連20周年スカウトフェスティバル 参加                                                               | 1.1 おしるこ会<br>1.18 萩窪町内国旗パレード<br>5.10 杉並区子供会交換会 参加<br>7.25 羽村・合宿(3泊4日)                                           | 3. 清澄庭園・鴨の餌つけ※<br>5.16 地区カブラリー 参加<br>8.18 富士学園・合宿(3泊4日) | 2.13 町内国旗パレード<br>6.11 カブラリー 参加・小金井公園<br>8.10 菅平・合宿(3泊4日)<br>9. ユニセフ募金<br>10.29 いもほり・稻荷山公園<br>11. 日連50周年カブラリー<br>明治神宮・参加 |
| ボーイスカウト隊 | 10.20 C.Sと合同初顔合わせ会<br>12.31 白山神社かがり火奉仕※                                                                                                                                 | 隊長 今村国治<br>3.15 NTVドライブゲーム出演<br>5.3 第1回訓練キャンプ(2泊3日)<br>横須賀双子山「根っ子キャンプ」<br>7.28 北秋川渓谷・野営(2泊3日)<br>10.1 赤い羽根共同募金※<br>11.1 東連20周年スカウトフェスティバル 参加<br>11. 高尾山へ1泊夜間ハイク | 1.1 おしるこ会<br>1.18 萩窪町内国旗パレード<br>4. 二級スカウト新宿・箱根山サイクリング<br>5.10 杉並区子供会交歓会 参加<br>7.25 羽村・野営(3泊4日)<br>9.7 白山神社祭礼奉仕※ | 4.2 交通標識・ガードレール<br>清掃奉仕<br>8.18 富士学園・野営(3泊4日)           | 2.13 町内国旗パレード<br>3. 隊10Kmハイク<br>4.23 隊長 横 寛司<br>8.14 双子山・野営(3泊4日)<br>9. ユニセフ募金<br>10.10 171団と親睦野球                       |
| 備考       | <p>1. 毎年各隊の7月~8月合宿・野営は、夏期隊キャンプである。</p> <p>2. 行事欄の※印は、以降毎年の恒例行事となつたものを表わす。</p> <p>3. 各年度の空白欄に、各自のスカウト歴を記入して活用して下さい。</p> <p>4. 年表発行日 昭和53年12月17日</p> <p>5. 編集責任者 今村国治</p> |                                                                                                                                                                 |                                                                                                                 |                                                         |                                                                                                                         |

| 年<br>行<br>事  | 4 8<br>1 9 7 3                                                                                                                    | 4 9<br>1 9 7 4                                                                                                     | 5 0<br>1 9 7 5                                                                                                                             | 5 1<br>1 9 7 6                                                                                                                   | 5 2<br>1 9 7 7                                                                                                                                                                                                                                                                 | 5 3<br>1 9 7 8 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 団            | 6.3 入隊・上進式<br><br>8.1~6 第6回日本ジャンボリー・千歳原<br>S.S 3名 B.S 2名<br>参加<br>9.11 夏期キャンプ反省会<br>11.30 母の会発展的解散<br>12.1 団会計発足<br>12.14 育成会臨時総会 | 1. 団委員会・団会議<br>会計会議等月1回<br>定例とす※<br>2.11 第1回団報発行※<br>もちつき大会※<br>4.13 総会※ 入隊・上進式                                    | 3.2 杉並ライオンズクラブ殿よりテント1張寄贈される※<br>4.18 総会・入隊・上進式<br>7.25 B.S・S.S隊旗新調                                                                         | 3.13 総会・入隊・上進式<br>9.23 土屋団委員長御逝去<br>10.8 団委員長 東海林義尚                                                                              | 3.12 総会・入隊・上進式<br>4.23 西部地区分封により杉並地区発足のつどい<br>当団は杉並第8団と改称<br>6.1 高井戸ライオンズクラブ殿よりテント1張寄贈される<br>7. 日連よりC.S・B.S・5年授・10年授与される<br>8.3~9 第7回日本ジャンボリー・御殿場<br>S.S 3名・B.S 7名参加<br>8.4 発団10周年記念合同キャンプ・根原<br>8.27 団備品庫・平和信用組合駐車場内に設置<br>12.17 発団10周年記念式典<br>杉並8団隊旗入魂式(C.S 2・B.S 2・S.S・R.S) |                |
| カブスカウト隊      | 7.29 羽村・舍營<br>(4泊5日)<br>8.28 入間・舍營<br>(3泊4日)<br>12.14 隊長 長谷川峰雄                                                                    | 6.15 横須賀艦船見学<br>7.26 隊1泊キャンプ※ 京王ホール<br>8.2 花火大会・妙正寺公園<br>8.17 滝ヶ原・舍營(3泊4日)<br>10.12 B.Sとソフトボール大会<br>10.26 いもほり・多摩湖 | 4. 緑の羽根募金<br>6.27 隊1泊キャンプ<br>オリンピック青少年センター<br>8.6 岡部・舍營(3泊4日)<br>9.26 老人ホーム寿楽荘・慰問※<br>10.10 地区カブラリー 参加<br>校成学園にて優勝<br>11.3 S.Sと共に野外料理・相模湖※ | 1.23 鳴あげ大会・狭山公園<br>3.13 隊長 生明 清<br>5.22 カブ農場始まる※<br>田無六角地蔵<br>6.5 地区カブラリー<br>相模湖ビクニックランド<br>6.18 1泊キャンプ・名栗川<br>7.29 湯の上・舍營(3泊4日) | 6.3 1泊キャンプ・高尾ユースホステル<br>8.4 根原合同キャンプ(3泊4日)<br>10.10 宇宙博見学                                                                                                                                                                                                                      |                |
| ボイスカウト隊      | 7.29 羽村・野營<br>(4泊5日)<br>8.28 入間・野營<br>(3泊4日)                                                                                      | 4.25 隊長 東 茂樹<br>8.15 滝ヶ原・野營(5泊6日)<br>10.12 C.Sとソフトボール大会<br>11.1 地区キャンボリー<br>グランドハイツ 25名参加                          | 4. 緑の羽根募金<br>6.13 地区オリエンテーリング<br>飯能にて27名参加<br>コブラ班 優勝<br>7.28 習志野・野營(5泊6日)                                                                 | 3.13 隊長 赤城伍朗<br>8.6 習志野・野營(5泊6日)<br>8.27 地区キャンボリー<br>グランドハイツ 24名参加<br>10.9 老人ホーム寿楽荘・清掃奉仕※                                        | 6.4 ユニセフ募金<br>8.4 根原合同キャンプ(3泊4日)<br>10.14 オーバーナイトハイク・多摩湖駅から20Km                                                                                                                                                                                                                |                |
| シニアースカウト班 登録 | 4.1 シニアースカウト班 登録<br><br>班活動                                                                                                       | 1.15 S.S 3名 235団へ移籍訓練                                                                                              | 3.11 シニア一隊 登録<br>隊長 小嶋宏明<br>3.21 上進キャンプ・雲取山<br>6. B.S 隊招待ハイク・相模湖※<br>7.28 習志野・野營(5泊6日)<br>11.3 C.S 招待野外料理・相模湖※                             | 3.19 S.S上進キャンプ・丹沢<br>8.13 丹沢移動野營(5泊6日)                                                                                           | 3.17 シニア上進キャンプ・丹沢<br>8.2 富士移動・根原合同キャンプ(5泊6日)                                                                                                                                                                                                                                   |                |
| シニアースカウト隊    |                                                                                                                                   |                                                                                                                    |                                                                                                                                            |                                                                                                                                  | スロカーウバト一隊<br>3.12 ローバースカウト班 登録<br>隊長 横田和恕<br>10.6 隊キャンプ・八丈島(3泊4日)                                                                                                                                                                                                              |                |

| 年<br>行<br>事 | 54<br>1979                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 55<br>1980                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 56<br>1981                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 57<br>1982                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 58<br>1983                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 団           | <p>2.11 もちつき大会(白山神社)</p> <p>3.25 入隊・上進式</p> <p>4.22 育成会総会</p> <p>5. 3 地区指導者講習会</p> <p>6.16 地区野営法研修会</p> <p>7.26~31 東連シニア合同野営(山中湖)</p> <p>9. 2~3 長者会山荘水源工事奉仕</p> <p>9. 8~9 地区救急法講習会</p> <p>9.16 交通安全パレード</p> <p>11.11 地区消防法研修会</p> <p>11.23 団委員研修会</p> <p>11.24 新入隊員説明会</p> <p>11.24 指導者一泊研修会(八王子大学セミナー)</p> <p>12.16 友情交歓会(公民館公園)</p> | <p>2.11 もちつき大会(白山神社)</p> <p>3. 2 団倉庫引越</p> <p>3.16 入隊・上進式</p> <p>4.20 育成会総会</p> <p>4.29 地区指導者講習会</p> <p>5.15 12団発団式に出席</p> <p>5.11 友情交歓会</p> <p>6.14 東連救急法指導者講習会</p> <p>6.16~17 地区野営法研修会</p> <p>8. 1~5 東京連盟キャンポリー奉仕参加</p> <p>9.14~15 育成会キャンプ</p> <p>9.16 交通安全パレード</p> <p>9.28 地区カブラー参加</p> <p>11.22~23 指導者一泊研修(八王子セミナー)</p>                                                                                | <p>2. 1 育成会総会</p> <p>2.11 もちつき大会(白山神社)</p> <p>3.15 入隊・上進式(公民館)</p> <p>4.29 指導者講習会</p> <p>5.17 育成会バザー(白山神社)</p> <p>5.17 ユニセフ共同募金</p> <p>5.17 団委員研修会</p> <p>6.12~14 団委員長特修所</p> <p>6.19~20 地区野営法研修会</p> <p>6.28 技能章考查委員講習会</p> <p>8.24 杉七小供会奉仕</p> <p>9.13 交通安全パレード</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10.10~11 育成会キャンプ</p> <p>11.29 新入隊員説明会</p> <p>11.23 指導者一泊研修会(八王子)</p> <p>12. 6 新入隊員面接</p> <p>12.13 友情交歓会</p> | <p>2. 7 育成会総会</p> <p>3.14 入隊・上進式</p> <p>4.29 指導者講習会</p> <p>5. 1 緑の羽根共同募金</p> <p>5. 1~5 スカウト週間</p> <p>5.16 団委員研修会</p> <p>5.23 育成会バザー</p> <p>5.23 ユニセフ共同募金</p> <p>6.12~13 地区野営法研修会</p> <p>8. 1~6 第8回日本ジャンボリー参加</p> <p>8.26~28 北口商店会納涼大会奉仕</p> <p>9. 1 新入隊員説明会</p> <p>9.12 同面接</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10. 3 杉並13団発団式出席</p> <p>10.24 区との共催行事(ソングとゲームの集い)</p> <p>11.13~14 育成会キャンプ</p> <p>11.31 全国キャラバン隊激励会</p> <p>12. 5 技能章研修会</p> <p>12.12 友情交歓会</p> | <p>1. 9 入隊・上進式</p> <p>2. 6 育成会総会</p> <p>4. 8 団シンボルマーク出来る</p> <p>4.30 団チーフ仕上る</p> <p>5. 2~8 スカウト週間</p> <p>5. 3 地区指導者研修会</p> <p>5. 8 育成会バザー</p> <p>6. 4~5 15周年記念合同キャンプ合同下見</p> <p>6.11~12 杉並地区野営法研修会</p> <p>7. 2~3 地区成人救急法講習会</p> <p>8. 6 15周年記念合同キャンプ</p> <p>8.27~29 北口商店会納涼大会奉仕</p> <p>9. 4 新入隊員説明会</p> <p>9.11 " 面接</p> <p>9. 8~8 白山神社祭礼奉仕</p> <p>9.18 救急法研修会</p> <p>10. 8~10 団委員特修所</p> <p>10.12 三宅島噴火義援金送</p> <p>11.19 指導者研修会</p> <p>12. 4 進歩研修会</p> <p>12.31 白山神社かがり火奉仕</p> |
| カブスカウト一隊    | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>2.11 もちつき大会</p> <p>3.25 入隊・上進式</p> <p>5. 5 カブ農場いも苗植</p> <p>5.27 ユニセフこどものつどい(日比谷公会堂)</p> <p>6.23 1泊キャンプ(川井キャンプ場)</p> <p>7.14 ブラネットリウム見学(科学教育センター)</p> <p>8. 4 夏季キャンプ(甲武キャンプ場)3泊4日</p> <p>9.16 交通安全パレード</p> <p>10. 0 赤い羽根共同募金</p> <p>10.10 カブ農場収穫</p> <p>11. 3 S.S企画野外料理(沢井川)</p> <p>12.16 友情交歓会</p>            | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>2.11 もちつき大会(白山神社)</p> <p>2.17 スケート教室(代々木)</p> <p>3. 2 鳴あげ大会・アスレチック(青梅)</p> <p>3.16 入隊・上進式</p> <p>5. 3 カブ農場植付</p> <p>5.11 友情交歓会</p> <p>6. 1 S-S企画野外料理・追跡ハイク</p> <p>8. 9 夏季キャンプ(道志)3泊4日</p> <p>9.28 杉並地区カブラー</p> <p>9.16 交通安全パレード</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10.10 カブ農場いも収穫</p> <p>11. 2 野外料理(五日市)</p> <p>12.14 新入隊員歓迎会</p>                                                        | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>1.24~25 1泊キャンプ</p> <p>2.11 もちつき大会</p> <p>3.15 入隊・上進式</p> <p>5.10 カブ農場苗植</p> <p>5.17 育成会バザー</p> <p>5.17 ユニセフ共同募金</p> <p>5.31 S-S企画行事(相模湖)</p> <p>7.24~27 夏季キャンプ(箱根仙石原)</p> <p>9.13 交通安全パレード</p> <p>9.20 科学技術館見学</p> <p>10. 1 赤い羽根</p> <p>11. 1 カブ農場収穫</p> <p>12.13 友情交歓会</p>                                                                                                        | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>1.17 りす仮入隊式</p> <p>1.30~31 1泊キャンプ(青梅青年の家)</p> <p>3. 7 地区共催行事ロープワークの集い</p> <p>3.14 上進・入隊式</p> <p>4. 2 ハイキング(多摩川弁天洞穴)</p> <p>5. 9 緑の羽根共同募金</p> <p>5. 9 カブ農場植付</p> <p>5.16 S-S企画ピクニック</p> <p>5.23 育成会バザー</p> <p>5.23 ユニセフ共同募金</p> <p>7.24~27 夏季キャンプ(日光小倉山山荘)</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10.31 カブ農場収穫</p> <p>11.27~28 1泊キャンプ(高尾山ユースホステル)</p> <p>12.12 友情交歓会</p>                                                                  | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>1. 8 入隊・上進式</p> <p>2.20 スケート教室(千駄ヶ谷)</p> <p>3.27 ハイキング下見(五日市逆沢)</p> <p>5. 5 ハイキング(五日市逆沢)</p> <p>5. 8 育成会バザー</p> <p>5. 8 ユニセフ共同募金</p> <p>5. 8 緑の羽根共同募金</p> <p>6.19 S-S企画ハイキング(元加治)</p> <p>8. 5~8 夏季キャンプ(八ヶ岳・八千穂高原)</p> <p>9.25 59年夏季キャンプ下見</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10. 2 野外料理(五日市秋川)</p> <p>10.16 りす仮入隊式</p> <p>10.30 カブラー(野川公園)</p> <p>12. 4 59年度夏季キャンプ下見</p> <p>12.11 スケート大会</p>                                                                  |
| カブスカウト二隊    | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>2.11 もちつき大会(白山神社)</p> <p>3.25 入隊・上進式</p> <p>5. 5 カブ農場植付</p> <p>6. 2~3 1泊キャンプ(高尾山ユースホステル)</p> <p>7.14 夏の星座研究(科学教育センター)</p> <p>8. 3~6 夏季キャンプ(信濃追分)</p> <p>9.16 交通安全パレード</p> <p>9.23 野外料理(五日市)</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10.10 カブ農場収穫</p> <p>11. 3 S.S企画野外料理(沢井川)</p> <p>12.16 友情交歓会</p>                      | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>1. 1 スケート教室(千駄ヶ谷)</p> <p>2.11 もちつき大会(白山神社)</p> <p>2.17 鳴あげ大会(善福寺川公園)</p> <p>3. 2 球技大会(桃二小)</p> <p>3.16 入隊・上進式</p> <p>5. 3 カブ農場植付</p> <p>5.11 友情交歓会</p> <p>6. 1 S-S企画野外料理・追跡ハイク</p> <p>6. 6~7 1泊キャンプ(青梅青年の家)</p> <p>6.14~15 1泊キャンプ(入間青年の家)</p> <p>7.25~29 夏季キャンプ(塩谷)</p> <p>9.16 交通安全パレード</p> <p>9.28 杉並地区カブラー</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10.10 カブ農場収穫</p> <p>11. 2 野外料理(五日市)</p> | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>1.18 スケート教室(千駄ヶ谷)</p> <p>2.11 もちつき大会(白山神社)</p> <p>3.15 入隊・上進式</p> <p>5.10 カブ農場植付け</p> <p>5.17 育成会バザー</p> <p>5.17 ユニセフ共同募金</p> <p>5.31 S-S企画行事(相模湖)</p> <p>6. 6~7 1泊キャンプ(青梅青年の家)</p> <p>7.24~27 夏季キャンプ(道志グリーンカレッジ)</p> <p>9.13 交通安全パレード</p> <p>9.23 野外料理(高麗川)</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10.18 カブ農場</p> <p>11. 1 ハイキング(秋川)</p> <p>12.13 友情交歓会</p>                                 | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>1. 7 スケート教室(千駄ヶ谷)</p> <p>3. 7 地区共催行事ロープワークの集い</p> <p>3.14 入隊・上進式</p> <p>5. 9 緑の羽根共同募金</p> <p>5. 9 カブ農場植付</p> <p>5.16 S-S企画ピクニック</p> <p>5.23 育成会バザー</p> <p>5.23 ユニセフ共同募金</p> <p>6. 5~6 1泊キャンプ(五日市城山莊)</p> <p>7.23~26 夏季キャンプ(山梨県檍形山)</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10. 6 ハイキング(景信山)</p> <p>10.31 カブ農場収穫</p> <p>10.31 野外料理</p> <p>12.12 友情交歓会(野川公園)</p>                                                                            | <p>1. 1 初詣(白山神社)</p> <p>1. 8 入隊・上進式</p> <p>2.20 スケート教室(千駄ヶ谷)</p> <p>2.20 B.P祭</p> <p>3.27 区内史跡めぐり</p> <p>4.16~17 1泊キャンプ(五日市城山莊)</p> <p>5. 8 育成会バザー</p> <p>5. 8 ユニセフ共同募金</p> <p>5. 8 緑の羽根共同募金</p> <p>5.15 汐干狩(幕張海岸)</p> <p>6.19 S-S企画ハイキング(元加治)</p> <p>8. 5~8 夏季キャンプ(八ヶ岳・八千穂高原)</p> <p>9.23 りす仮入隊式</p> <p>10. 1 赤い羽根共同募金</p> <p>10. 6 サイクリング</p> <p>10.30 カブラー(野川公園)</p> <p>11. 3 野外料理(秋川)</p> <p>12.11 スケート大会(千駄ヶ谷)</p>                                                         |

| 年<br>行<br>事      | 54<br>1979                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 55<br>1980                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 56<br>1981                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 57<br>1982                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 58<br>1983                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ボ<br>イ<br>隊      | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>2.11 もちつき大会<br/>3.25 入隊・上進式<br/>3.31~2 グリーンバーキャンプ(海沢)<br/>4. 8 野外料理(海沢)<br/>6.10 S.S企画ハイキング(高尾山)<br/>7.25~30 夏季キャンプ(山梨県小菅村)<br/>8.18~19 オーバーナイトハイク(30km)日本橋→荻窪)<br/>9. 7~8 白山神社祭礼奉仕<br/>9.16 交通安全パレード<br/>9.22~24 グリーンバーキャンプ(海沢)<br/>10. 1 赤い羽根共同募金<br/>11.11 救急法オリエンテーリング(宮沢湖周辺)<br/>11.23 寿楽荘(老人ホーム)清掃奉仕<br/>12.16 友情交歓会<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p> | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1.13 バスケット(富士急ハイランド)<br/>2.11 もちつき大会<br/>3. 9 田無農場じゃがいも植付<br/>3. 2 団倉庫引越<br/>3.16 入隊・上進式<br/>4.13 野外料理(海沢)<br/>5. 3~5 グリーンバーキャンプ<br/>5.11 友情交歓会<br/>6. 8 ポイントO.L(高尾バマネットコース)<br/>7.20 田無農場収穫<br/>8. 1~6 夏季キャンプ(山梨県同志村)<br/>8. 7~8 白山神社祭礼奉仕<br/>10. 1 赤い羽根共同募金<br/>11. 8~9 オーバーナイトハイキング(三峰~大山)<br/>11.23 寿楽荘(老人ホーム)清掃奉仕<br/>12.14 ポイントO.L(飯能)<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p> | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1.11 スケート(日本ランド)<br/>2. 8 追跡ハイク(飯能)<br/>2.11 もちつき大会<br/>3. 8 田無農場じゃがいも苗植<br/>3.15 入隊・上進式<br/>4. 4~5 フレンチシップパトローリィ<br/>4.12 追跡ハイク(横手)<br/>5. 3~5 グリーンバーキャンプ(海沢)<br/>5.17 育成会バザー<br/>6.14 野外料理(横手)<br/>8. 7~12 夏季キャンプ(長者合上流)<br/>9. 7~8 白山神社祭礼奉仕<br/>9.13 交通安全パレード<br/>9.12~13 救急法講習会<br/>10. 1 赤い羽根共同募金<br/>10.31~1 オーバーナイトハイク<br/>11.23 寿楽荘(老人ホーム)清掃奉仕</p> | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1.11 スケート(日本ランド)<br/>2.14 サイクリング(皇后前広場)<br/>2.21 日連60周年記念オープニング<br/>3. 7 自転車講習会(オリンピックセンター)<br/>3. 7 田無農場じゃがいも植付<br/>3.20~22 グリーンバーキャンプ(海沢)<br/>4. 2~4 日米フレンドシップパトロール(稻城市)<br/>5. 1~3 2泊キャンプ(山梨県早川町)<br/>5.23 育成会バザー<br/>6.13 オリエンテーリング(飯能天覧山)<br/>7.11 田無農場収穫<br/>8. 1~8 第8回日本ジャンボリー(南蔵王)<br/>8.12~15 夏季キャンプ(日光鳴沢キャンプ場)<br/>8. 7~8 白山神社祭礼奉仕<br/>9.19 S.S企画合同ハイク(三浦半島)<br/>10. 1 赤い羽根共同募金<br/>11.23 寿楽荘(老人ホーム)清掃奉仕<br/>12.12 友情交歓会</p> | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1. 9 入隊・上進式<br/>2.23 寒中水泳(千駄ヶ谷プール)<br/>3.19~21 2泊キャンプ<br/>4.10 指導者講習会<br/>4.25~27 フレンチシップパトローリー(稻城市)<br/>5. 8 育成会バザー<br/>5.22 追跡ハイク(武蔵横手)<br/>6.12 野外料理(高麗川)<br/>8. 3~8 夏季キャンプ(八千穂高原)<br/>9. 7~8 白山神社祭礼奉仕<br/>9.15 地区B.Sラリー<br/>9.24~25 S.S合同企画 オーバーナイトハイク<br/>10.30 座標O.L(高水三山)<br/>11.23 寿楽荘清掃奉仕</p>                                                                     |
| シ<br>ニ<br>ア<br>隊 | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1.12 スケート(B.S隊と)<br/>2.11 もちつき大会<br/>3.25 入隊・上進式<br/>4.28~30 シニア章挑戦キャンプ(雲取山アドベンチャー)<br/>4.30 シニア進級式<br/>6.10 B.S隊招待オリエンテーリング(高尾)<br/>8. 2~8 夏季キャンプ(丹沢神之川流域)<br/>9.16 交通安全パレード<br/>11. 3 C.S隊招待野外料理(相模湖)<br/>12.16 友情交歓会<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕<br/>12.31~1 年越キャンプ(丹沢)</p>                                                                             | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1.13 スケート(川口湖)<br/>2.11 もちつき大会<br/>3. 2 団倉庫引越<br/>3.16 入隊・上進式<br/>4.12 シニア備品整理<br/>5. 2~4 シニア章挑戦キャンプ(大菩薩峠)<br/>5.17 育成会バザー<br/>5.31 C.S隊招待ハイク(相模湖)<br/>7.25~29 東連シニア合同野営(山中湖)<br/>8.14~19 夏季キャンプ<br/>8.30 地区スカウトフォーラム<br/>9. 7~8 白山神社祭礼奉仕<br/>9.13 交通安全パレード<br/>11. 1 B.S合同オーバーナイトハイク<br/>12.13 友情交歓会<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p>                                        | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1.11 スケート(B.Sと合同)<br/>2.11 もちつき大会<br/>3.15 入隊・上進式<br/>4.12 シニア備品整理<br/>5. 2~4 シニア章挑戦キャンプ(大菩薩峠)<br/>5.17 育成会バザー<br/>5.31 C.S隊招待ハイク(多摩御陵)<br/>5.23 育成会バザー<br/>7.24~28 夏季キャンプ(日光中禅寺~尾瀬沼)<br/>8. 1~7 第8回日本ジャンボリー(2名参加)<br/>8.26~28 高円寺阿波踊り交通整理奉仕<br/>9.19 S.S企画ハイク(三浦半島)<br/>9. 7~8 白山神社祭礼奉仕<br/>12.12 友情交歓会(野川公園)<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p>                    | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1.11 年間プロ委員会<br/>3.14 入隊・上進式<br/>3.20~22 シニア章挑戦キャンプ(秩父両神山)<br/>5. 5 C.S隊招隊ハイク(多摩御陵)<br/>5.23 育成会バザー<br/>7.24~28 夏季キャンプ(日光中禅寺~尾瀬沼)<br/>8. 1~7 第8回日本ジャンボリー(2名参加)<br/>8.26~28 高円寺阿波踊り交通整理奉仕<br/>9.19 S.S企画ハイク(三浦半島)<br/>9. 7~8 白山神社祭礼奉仕<br/>12.12 友情交歓会(野川公園)<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p>                                                                                                                                                    | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1. 9 入隊・上進式<br/>1.29 S.S隊リーダー交替<br/>3.19~21 シニア章挑戦キャンプ(藤野→山中野営場)<br/>4.29 カブ招待下見<br/>5. 8 育成会バザー<br/>6. 4 地区スカウトフォーラム<br/>6.18~19 カブ招待実施(元加治)<br/>7.26~29 シニア合同訓練キャンプ(三ツ峠→山中野営場)<br/>8. 2~7 夏季キャンプ(北八ヶ岳)<br/>9.18 救急法講習会<br/>9.24~25 B.S合同行事 グリーンシニア入隊式<br/>9.24~25 東連スカウトフォーラム<br/>11. 3 消防安全講習会<br/>12.18 ベンチャーアイド説明会<br/>12.31~1 白山神社かがり火奉仕<br/>12.31~1 耐寒キャンプ(三ツ峠)</p> |
| ロ<br>バ<br>隊      | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>2.11 もちつき大会<br/>3.25 上進式<br/>5. W.B研修所奉仕<br/>6.16 杉並地区野営研修会奉仕<br/>8. 各隊夏季キャンプ奉仕<br/>9. 研修所奉仕<br/>12.16 友情交歓会実施</p>                                                                                                                                                                                                                                  | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>2.11 もちつき大会実施<br/>3. 8 スキーツアー(乗鞍高原)<br/>4.29 指導者講習会<br/>5. 3~5 新入隊員歓迎キャンプ<br/>5. 5 12回発団式に出席<br/>5.11 友情交歓会<br/>6.21~22 野営法研修会<br/>7.18~22 夏季キャンプ(神津島)<br/>9.21 交通安全パレード奉仕<br/>9.28 カブラー奉仕<br/>10.19 指導者講習会<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p>                                                                                                                                  | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>2.25 冬期キャンプK.P.I<br/>3.15 入隊・上進式<br/>3.19~23 冬期訓練キャンプ(乗鞍岳)<br/>4.29 指導者講習会<br/>5. 2~4 新入隊員歓迎キャンプ(小菅川)<br/>5. 5 ローバーミートオリエンテーション<br/>5.17 育成会バザー<br/>6.12~13 野営法研修会<br/>6.19~21 ローバーキャンプ(山中野営場)<br/>8. 3~8 夏季キャンプ(奥只見)<br/>8. 8 W.B研修所奉仕<br/>9.13 交通安全パレード<br/>11.14 ローバー説明会<br/>12.12~14 ローバーセミナー(2名出席)<br/>12.13 友情交歓会(狹山公園)<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p>     | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>1.31 冬期訓練下見(谷川岳)<br/>3.14 上進式<br/>4.10~11 新入隊員歓迎キャンプ(峰谷)<br/>4.29 指導者講習会<br/>5.23 育成会バザー<br/>6.12~13 野営法研修会<br/>8. 1~3 夏季キャンプ<br/>8. 8 各隊夏季キャンプ奉仕<br/>9.27 ローバーフォーラム(I)<br/>10.17 指導者講習会<br/>10.25 ローバーフォーラム(II)<br/>11. 1 ローバー説明会<br/>11.27 ローバーフォーラム(III)<br/>12.12 友情交歓会(野川公園)<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p>                                                                                                                             | <p>1. 1 白山神社かがり火奉仕<br/>2. 8~10 冬期訓練キャンプ下見(山田牧場)<br/>3.11~15 冬期訓練キャンプ実施(長野県山田牧場)<br/>4.10 指導者講習会<br/>4.30~5.1 新入隊員歓迎キャンプ(奥多摩)<br/>5. 8 育成会バザー<br/>6.11~12 野営法研修会<br/>8. 2~7 夏季キャンプ(新潟、八千穂高原)<br/>8.27~29 北口商店会納涼大会<br/>9.15 地区ラリー奉仕<br/>9.26 ローバーフォーラム(I)<br/>10.24 " (II)<br/>11.19 " (III)<br/>12.26 " (IV)<br/>12.31 白山神社かがり火奉仕</p>                                                             |



## 編集後記

15周年記念にあたって、かって15年の間かかわった方々の原稿をもつと多く  
編集出来ると最高でしたが力不足で何れ物足りぬ感があり残念です。  
20周年の時にはもっと充実した内容で編集できればと思います。

ご協力ありがとうございました。

尚 記念号、団報についてご意見、ご希望がありましたら下記迄  
お知らせ下さい。

(団委員会広報 島田)

隊